

平成26年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年8月12日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社フェローテック
 コード番号 6890 URL <http://www.ferrotec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山村 章
 問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 山村 丈 TEL 03-3281-8186
 四半期報告書提出予定日 平成25年8月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 無
 四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第1四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第1四半期	9,538	0.4	△58	—	479	—	418	—
25年3月期第1四半期	9,503	△49.5	△470	—	△554	—	△663	—

(注) 包括利益 26年3月期第1四半期 2,823百万円 (189.5%) 25年3月期第1四半期 975百万円 (△56.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第1四半期	13.58	—
25年3月期第1四半期	△21.56	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第1四半期	69,725	33,108	46.5	1,051.57
25年3月期	66,343	30,439	44.9	966.10

(参考) 自己資本 26年3月期第1四半期 32,399百万円 25年3月期 29,765百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	5.00	5.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	0.00	—	5.00	5.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	19,900	△0.7	170	—	550	—	800	—	25.97
通期	42,000	9.3	1,000	—	850	—	1,000	—	32.46

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項 (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期1Q	30,903,702株	25年3月期	30,903,702株
26年3月期1Q	93,424株	25年3月期	93,424株
26年3月期1Q	30,810,278株	25年3月期1Q	30,801,592株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	12
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間における世界経済では、ユーロ圏での財政危機による信用不安が徐々に遠のき、米国経済の景気回復が順調なことから、概ね回復基調で推移しています。一方、中国の経済成長率は鈍化したものの、一定の成長が維持されており底堅く推移しています。

わが国におきましては、金融緩和策や脱デフレなどの経済政策により、企業活動に回復の兆しが見え、景況感も徐々に戻りつつあります。また、外国為替市場では、円安基調へ転換し、今のところ為替相場は安定的に推移しております。

当社グループの属するエレクトロニクス産業では、半導体・FPD業界はタブレット型パソコン（PC）や有機ELパネルの設備投資が遅れておりましたが、投資意欲が徐々に回復してまいりました。アジアを中心とした新興国でのスマートフォンやタブレット型PCなどの需要が旺盛となり、デバイスメーカー各社の設備投資や生産設備稼働率の上昇が見込める状況です。太陽電池業界では、太陽光発電に使用される太陽電池パネルの低価格化が進んだことにより、太陽電池パネルの設置量は、前年比で拡大するものと見込まれており、特に日本・米国ではメガソーラーや住宅への設置量が広がっております。

このような事業環境のなか、当社グループの装置関連事業におきましては、各製品の販売を北米のほか、中国、台湾、韓国のアジア市場を中心に受注拡大を目指して活動してまいりました。また、一般産業用機器など各方面に対し、営業体制を強化しております。太陽電池関連事業におきましては、厳しい事業環境ではありますが、太陽電池用シリコン製品のOEM製造に特化した結果、国内ユーザーを中心に引き合いが増え、受注活動を展開中です。電子デバイス事業のサーモモジュールにおきましては、自動車温調シート向けを中心に増加し、光通信、医療、バイオなど高機能製品も堅調でした。

また、為替市場での円安基調が継続したことから営業外収益に為替差益が発生いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における連結売上高は9,538百万円（前年同期比0.4%増）、連結営業損失は58百万円（前年同期は470百万円の営業損失）、連結経常利益は479百万円（前年同期は554百万円の経常損失）、連結四半期純利益は418百万円（前年同期は663百万円の四半期純損失）となりました。

セグメントにつきましては、製品用途の類似性と販売先業種により区分し、「装置関連事業」、「太陽電池関連事業」および「電子デバイス事業」の3区分を報告セグメントとして分類しております。

セグメントの状況は以下のとおりです。

(装置関連事業)

当該事業の主な製品は、真空シール、石英製品、セラミックス製品、シリコンウエーハ加工などです。

石英製品、セラミックス製品など製造プロセスに使用されるマテリアル製品は、スマートフォン用メモリやロジック系の設備稼働率上昇で需要はありましたが、顧客の値下げ要求が厳しく、売上高は微増となりました。

また、各種製造装置に使用する真空シールは、半導体・FPD等の設備投資が、予想より遅れて開始されたため、やや軟調に推移しました。

一方、シリコンウエーハ加工は、小口径ウエーハの需要が回復し、比較的底堅く推移しました。

この結果、当該事業の売上高は4,619百万円（前年同期比3.7%増）、営業利益は9百万円（前年同期比72.5%減）となりました。

(太陽電池関連事業)

当該事業の主な製品は、シリコン結晶製造装置、シリコン製品、石英坩堝、角槽などです。

太陽電池産業は、欧州市場に代わり、中国・日本・米国市場への太陽電池パネル導入量が伸びたものの、同パネルの価格下落の結果、欧州の大手企業が撤退し、最大手の中国企業が経営破綻に至るなど厳しい市場環境が続いております。そのため、新規の製造装置需要はなく、消耗品である石英坩堝や角槽も総じて低調な売上高となりました。その対策としてシリコン製品をOEM特化した結果、国内・台湾ユーザーからの引き合いが増加し、同製品の売上高は増加いたしました。

この結果、当該事業の売上高は2,801百万円（前年同期比14.1%減）、営業損失は169百万円（前年同期550百万円の営業損失）となりました。

(電子デバイス事業)

当該事業の主な製品は、サーモモジュール、磁性流体などです。

主力の自動車温調シート向けサーモモジュールは、自動車販売が好調に推移し特に米国市場においては、温調シートが搭載される高級車が増加いたしました。その他、検査装置、バイオ関連機器が総じて底堅く推移し、加えて、美容家電や浄水器サーバーなど民生分野の販売を広げました。

磁性流体も、比重差選別装置向けに受注が伸び、総じて堅調に推移しました。

この結果、当該事業の売上高は1,378百万円（前年同期比19.8%増）、営業利益は122百万円（前年同期比105.3%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

<資産>

当第1四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末と比べ3,381百万円増加し、69,725百万円となりました。これは主に受取手形及び売掛金1,343百万円と有形固定資産1,621百万円の増加によるものであります。

<負債>

当第1四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末と比べ712百万円増加し、36,616百万円となりました。これは主に短期借入金1,027百万円の増加によるものであります。

<純資産>

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末と比べ2,669百万円増加し、33,108百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定2,279百万円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間における現金および現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ241百万円減少し、当第1四半期連結会計期間末には7,131百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

<営業活動によるキャッシュ・フロー>

営業活動の結果得られた資金は1,362百万円（前年同期比683百万円増）となりました。これは主に売上債権の減少額1,401百万円、減価償却費947百万円、税金等調整前当期純利益484百万円の方で、仕入債務の減少額765百万円、為替差益455百万円、たな卸資産の増加額393百万円によるものであります。

<投資活動によるキャッシュ・フロー>

投資活動の結果使用した資金は1,727百万円（前年同期比730百万円増）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出948百万円と貸付けによる支出764百万円によるものであります。

<財務活動によるキャッシュ・フロー>

財務活動の結果使用した資金は81百万円（前年同期比286百万円減）となりました。これは主に短期借入金の増加額567百万円、長期借入による収入300百万円があった一方で、長期借入金の返済による支出778百万円、配当金の支払額154百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成25年5月20日に公表いたしました業績予想を修正しております。

なお、詳細につきましては、本日（平成25年8月12日）公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等に含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,373,137	7,131,297
受取手形及び売掛金	15,235,769	16,579,241
商品及び製品	3,194,236	3,443,228
仕掛品	1,537,942	1,940,589
原材料及び貯蔵品	4,805,641	5,211,341
その他	2,710,532	2,734,309
貸倒引当金	△585,843	△1,657,372
流動資産合計	34,271,417	35,382,635
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	5,409,144	5,683,968
機械装置及び運搬具（純額）	10,165,156	11,034,067
工具、器具及び備品（純額）	5,980,249	6,413,319
土地	704,841	696,963
リース資産（純額）	196,474	186,751
建設仮勘定	2,459,086	2,521,358
有形固定資産合計	24,914,953	26,536,428
無形固定資産		
のれん	769,080	710,313
その他	914,423	953,364
無形固定資産合計	1,683,503	1,663,677
投資その他の資産		
その他	6,607,342	6,437,552
貸倒引当金	△1,133,396	△295,288
投資その他の資産合計	5,473,945	6,142,264
固定資産合計	32,072,403	34,342,370
資産合計	66,343,820	69,725,006

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,554,171	8,788,309
短期借入金	9,667,074	10,694,557
1年内返済予定の長期借入金	2,867,179	2,852,120
未払法人税等	155,833	135,119
賞与引当金	440,590	391,702
事業構造改革引当金	1,579,191	1,606,776
その他	3,979,796	3,929,387
流動負債合計	27,243,838	28,397,975
固定負債		
長期借入金	5,836,240	5,427,753
退職給付引当金	66,062	62,385
役員退職慰労引当金	54,920	56,470
資産除去債務	81,075	81,271
その他	2,622,517	2,590,841
固定負債合計	8,660,815	8,218,721
負債合計	35,904,653	36,616,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	13,201,346	13,201,346
資本剰余金	13,803,253	13,803,253
利益剰余金	2,448,093	2,712,297
自己株式	△86,355	△86,355
株主資本合計	29,366,338	29,630,542
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	325,199	415,247
為替換算調整勘定	74,219	2,353,221
その他の包括利益累計額合計	399,418	2,768,468
少数株主持分	673,410	709,298
純資産合計	30,439,166	33,108,309
負債純資産合計	66,343,820	69,725,006

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	9,503,225	9,538,071
売上原価	7,480,239	7,215,822
売上総利益	2,022,986	2,322,249
販売費及び一般管理費	2,493,859	2,380,438
営業損失(△)	△470,873	△58,188
営業外収益		
受取利息	8,855	5,439
為替差益	112,897	736,567
その他	31,982	52,477
営業外収益合計	153,734	794,484
営業外費用		
支払利息	162,803	154,777
その他	74,393	101,640
営業外費用合計	237,196	256,417
経常利益又は経常損失(△)	△554,335	479,877
特別利益		
固定資産売却益	939	8,509
特別利益合計	939	8,509
特別損失		
固定資産処分損	7,408	2,203
投資有価証券評価損	108,370	887
その他	3,798	689
特別損失合計	119,578	3,780
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△672,973	484,605
法人税等	△16,219	62,379
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△656,754	422,226
少数株主利益	7,223	3,971
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△663,977	418,255

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益 調整前四半期純損失(△)	△656,754	422,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△73,899	90,047
為替換算調整勘定	1,690,303	2,293,721
持分法適用会社に対する持分相当額	15,458	17,198
その他の包括利益合計	1,631,861	2,400,967
四半期包括利益	975,107	2,823,194
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	928,127	2,787,305
少数株主に係る四半期包括利益	46,979	35,888

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△672,973	484,605
減価償却費	767,339	947,983
のれん償却額	101,637	105,329
退職給付引当金の増減額(△は減少)	19,129	△3,866
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△38,550	1,550
賞与引当金の増減額(△は減少)	△138,998	△79,603
貸倒引当金の増減額(△は減少)	9,304	80,656
事業構造改革引当金の増減額(△は減少)	—	27,584
受取利息及び受取配当金	△9,827	△6,370
支払利息	162,803	154,777
株式交付費	813	—
為替差損益(△は益)	△161,079	△455,268
持分法による投資損益(△は益)	19,445	6,292
固定資産売却損益(△は益)	△939	△8,509
固定資産処分損益(△は益)	7,408	2,203
投資有価証券評価損益(△は益)	108,370	887
売上債権の増減額(△は増加)	865,596	1,401,063
たな卸資産の増減額(△は増加)	231,760	△393,542
仕入債務の増減額(△は減少)	△318,376	△765,067
その他	207,031	118,707
小計	1,159,894	1,619,414
利息及び配当金の受取額	16,400	7,370
利息の支払額	△163,937	△154,805
法人税等の支払額	△332,669	△109,107
営業活動によるキャッシュ・フロー	679,688	1,362,873
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△946,198	△948,317
有形固定資産の売却による収入	5,829	21,919
投資有価証券の取得による支出	△299	△299
関係会社出資金の払込による支出	—	△13,910
貸付けによる支出	—	△764,810
貸付金の回収による収入	2,386	2,204
その他	△58,390	△24,218
投資活動によるキャッシュ・フロー	△996,672	△1,727,432

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	48,467	567,720
長期借入れによる収入	1,000,000	300,000
長期借入金の返済による支出	△779,980	△778,481
リース債務の返済による支出	△23,211	△16,624
自己株式の取得による支出	△57	—
配当金の支払額	△612,437	△154,423
その他	△813	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△368,032	△81,808
現金及び現金同等物に係る換算差額	357,672	204,526
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△327,343	△241,840
現金及び現金同等物の期首残高	9,560,891	7,373,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,233,547	7,131,297

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,453,958	3,260,098	1,150,756	8,864,813	638,412	9,503,225	—	9,503,225
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	114,717	—	—	114,717	—	114,717	△114,717	—
計	4,568,675	3,260,098	1,150,756	8,979,530	638,412	9,617,943	△114,717	9,503,225
セグメント利益又 は損失(△)	36,233	△550,342	59,747	△454,360	2,486	△451,873	△18,999	△470,873

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△18,999千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他(注1)	合計	調整額(注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	装置関 連事業	太陽電池 関連事業	電子デバ イス事業	計				
売上高								
(1)外部顧客に 対する売上高	4,619,457	2,801,614	1,378,587	8,799,659	738,412	9,538,071	—	9,538,071
(2)セグメント間の 内部売上高又は 振替高	6,305	—	—	6,305	—	6,305	△6,305	—
計	4,625,763	2,801,614	1,378,587	8,805,965	738,412	9,544,377	△6,305	9,538,071
セグメント利益又 は損失(△)	9,960	△169,436	122,661	△36,814	△5,665	△42,479	△15,709	△58,188

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ソーブレード、装置部品洗浄、工作機械、表面処理等の事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△15,709千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社資産の減価償却費等であります。

3 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(投資有価証券の売却)

当社が保有する投資有価証券の一部を平成25年7月に売却いたしました。

当該売却に伴い、平成26年3月期第2四半期連結累計期間において、投資有価証券売却益645百万円を特別利益に計上する予定であります。